

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8282
担当部課名	管理部	学務	課	
事務事業名	中学校課外活動助成金		事業コード	14121

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
生徒の健全育成を目的とし、魅力ある課外活動環境の充実、生徒の積極的参加を促進する。		市立中学校	
		対象数	27校
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
助成金	25,884,120円	なし	
生徒数	15,783人(生徒1人当り約1,650円)		
部員数	13,729人(部員1人当り約1,900円)		
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度

4 評価指標

指標名	課外活動助成金の充実	課外活動参加の促進
指標式	助成金額/部員数 ÷ 1,900 × 100	部員数/生徒数 × 100
指標設定の意図		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	94.9	97.6	a 99.2	b 100.0	100.0	
指標	88.7	87.9	c 87.0	d 100.0	100.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	25,910	25,896	25,884	26,000	25,100
	人員・時間数	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
	人件費	842	842	842	842	842
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	26,752	26,738	26,726	26,842	25,942
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 93.1%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{99.2}{100.0} \times 100 = 99.2\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{87.0}{100.0} \times 100 = 87.0\%$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由 :	教育費全体の予算が先細りの中で、課外活動助成金の現状維持も難しい状況にあり、実効性を持った使途が求められる。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	教育現場にあって、生徒の健全育成を目指すには必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	助成金以外に保護者負担部分もあるため、現行の助成金の維持は堅持する必要がある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	教育委員会としての施策であるため代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	生徒の健全育成を目的としているため、市民の満足は得られると考える。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	人間性豊かな子どもを育成するために有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 予算の増加が期待できないため、部員数が増えると1人当りの金額が減るというジレンマがある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 目的達成のためには、現行予算額の堅持が必要である。</p>

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	ひとつの方法論として、課外活動助成金を生徒数割から部員数に移行するなどにより、今後助成金の充実を図りたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--